

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組結果	令和7年度の 実施の有無	評価	担当課
基本目標1 スポーツ機会の創出、スポーツによる健康増進						
1-(1) スポーツに気軽に取り組む機会の充実						
①気軽に参加できるスポーツや健康づくりの奨励	健康体操	人権ふれあいセンターで市内在住の方を対象に、同世代の交流及び健康増進を図る。	教室名 「健康体操教室」 開催日 6月から3月までの第1・3水曜日 場 所 あま市人権ふれあいセンター 内 容 市内在住の方を対象に、同世代の交流及び健康増進を図った。 参加者 397名	有	○:計画通りに進めることができた	人権推進課
	午後の体操	本郷憩の家で火曜日、木曜日、土曜日午後2時に開催する。 森憩の家で月曜日、水曜日、金曜日午後2時に開催する。 新居屋憩の家で月曜日から金曜日午後1時50分から2時に開催している。	・森憩の家は午後の体操は実施していません。 ・新居屋憩の家で月曜日から金曜日午後1時50分から2時にテレビで放送しているリズム体操やラジオ体操を行うことができた。 ・本郷の家では、火曜日、木曜日、土曜日午前10時半、午後2時に開催した。	有	△:おおむね計画通りに進めることができた	子ども福祉課
	トレーニングルーム開設	トレーニングルームの開設により、1人でも参加しやすい環境を提供する。	七宝・基目寺総合体育館及び美和公民館に、トレーニングルームを開設。1人でも参加しやすい環境を提供することができた。 また、トレーニング室にインストラクターを配置し、スポーツ活動、健康・体力づくりに関連する運動等を行った。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課 生涯学習課
	市民走ろう・歩こう会	世代を超えた交流及び健康増進を目的に木曾三川公園で、気軽に楽しめるジョギング(2km・4km・10km)とウォーキング(2km・4km)を実施する。	162名(七宝45名、基目寺69名、美和48名)の参加申込みがあり、幅広い世代に対し運動のきっかけづくりや健康づくりの機会を提供することができた。当日の参加者152名	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	市民歩け歩け会	同世代の交流及び健康増進を目的に県外のウォーキングコースで先着120名を対象に市民歩け歩け会を開催する。	121名(七宝42名、基目寺41名、美和38名)の参加申込みがあり、幅広い世代に対し運動のきっかけづくりや健康づくりの機会を提供することができた。当日の参加者121名	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	市民ラジオ体操の集い	世代を超えた交流や健康増進、さらに正しいラジオ体操の普及を目的に市民ラジオ体操の集いを実施する。	303名(七宝中止、基目寺147名、美和156名)の参加があり、幅広い世代に対し運動のきっかけづくりや健康づくりの機会を提供することができた。七宝地区(市役所)は、雨天のため中止。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	肩こり・腰痛ケアストレッチ教室	肩こり・腰痛ケアストレッチ教室(スポーツ教室)で、定員30名を対象にストレッチによる肩こりや腰痛に効果のあるストレッチやトレーニングを行い、健康づくりの機会創出や肩こり・腰痛に対する正しい理解の促進を図る。	参加者に、正しい姿勢や体感を鍛える方法を指導することにより、肩こり・腰痛に対する正しい理解の促進を図るとともに、健康や体力を維持、向上させることができた。 受講者27名	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	市民スポーツ大会	スポーツ協会が主管となり、市民を対象として市民大会を開催し、競技力・意欲の向上につながるよう、市民を対象とした各種スポーツの市民大会を開催する。	各協会が様々な種目の市民大会を開催し、市民の方が気軽に参加できるスポーツの場の提供することで、市民の健康増進に貢献することができた。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
②ライフステージに応じたスポーツ、リクリエーションの実施	音楽レクリエーション	新居屋憩の家で定員15人で開催。季節の音楽を口ずさんだり、音遊びをする。	音楽に合わせた健康づくりを行うことができた。	有	○:計画通りに進めることができた	子ども福祉課
	生涯学習講座	シルバーカレッジ、小学生親子ふれあい講座、幼児期家庭教育講座など、ライフステージに応じた講座を開催する。	シルバーカレッジ、小学生親子ふれあい講座、幼児期家庭教育講座など、ライフステージに応じた講座を開催することができた。	有	○:計画通りに進めることができた	生涯学習課
	にんにん忍者あそびフェスタ	忍者の歩き、すわる、はしる、うごく、しのびの術、すいとん、つなわたり、なわぬげ等の体験を実施する。	令和6年11月24日(日)美和公民館で開催。忍者の動きをモチーフにした身体の動かし方を楽しみ体験してもらうことで身体を動かす楽しさを体験してもらうことができた。 受講者86名	有	○:計画通りに進めることができた	あま市レクリエーション指導者クラブ(スポーツ課)
	ニュースポーツ(あまスポーツクラブ)事業	ニュースポーツ(あまスポーツクラブ事業)で、いろいろなスポーツを通じて仲間づくりを行ったり豊かな子どもを育む講座を実施する。	昨年から取り入れたモルックを中心に参加者の健康及び体力や考える力の向上に繋げた。 (講座受講者 20名 あそびフェスタ参加者 158名)	有	○:計画通りに進めることができた	あまスポーツクラブ(スポーツ課)

令和6年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目(結果・評価)

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組結果	令和7年度の実施の有無	評価	担当課
③地域団体のスポーツ活動の支援	スポーツ施設使用料金の減免	自治会などが行うスポーツ活動の場を支援することを目的に全額減免で施設を貸し出し、支援する。	自治会の活動(グラウンドゴルフ大会等)に対し、全額免除で施設(七宝グラウンド等)を貸し出した。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
④運動・スポーツによる生活習慣の改善	特定保健指導対象者への啓発	特定保健指導等により、運動を含めた生活習慣の見直しを促す。	特定保健指導を81人に実施し、運動を含めた生活習慣の見直しを促した。	有	○:計画通りに進めることができた	保険医療課
	いきいき体操	いきいき体操(成人保健事業)で、運動習慣を身につけるためのストレッチ運動・体操を実施する。	いきいき体操(成人保健事業)で、運動習慣を身につけるためのストレッチ運動・体操を実施した。(148回 1,241人)	有	○:計画通りに進めることができた	健康推進課
	ウォーキングあま	ウォーキングあま(成人保健事業)で市内のさまざまなコースをウォーキングし、生活習慣病の予防や心の健康づくりに寄与する。	生活習慣病の予防や心の健康づくりのために、ウォーキングあまを実施し、市内のさまざまなコースをウォーキングした。(8回 174人)	有	○:計画通りに進めることができた	健康推進課
	運動動画配信	各種体操や運動、ストレッチの動画配信を行う。	Mr. あーまんによる「ウォーキングの姿勢」「ストレッチ」「ながら運動」の動画を市公式ウェブサイト、広報で情報を掲載し、LINE、メール配信サービス、インスタグラム等を利用し周知した。	有	○:計画通りに進めることができた	健康推進課
	あま健康マイレージ事業(アプリ版)	あま健康マイレージアプリ内における「リアルウォーク機能」を利用し、市内のウォーキングコースを歩くことで健康増進を図る。	あま健康マイレージアプリ内における「リアルウォーク機能」を7月に3コース追加導入し、市内6つのウォーキングコースの周知を行うことで、健康増進を図った。	有	○:計画通りに進めることができた	健康推進課
	ワクワクからだ教室	ワクワクからだ教室(成人保健事業)において、転倒や骨折を予防するために、体ほぐしや体操を実施する。	ワクワクからだ教室において、筋肉を丈夫にして、転倒や骨折を予防するために、体ほぐしや体操を実施した。(36回 572人)	有	○:計画通りに進めることができた	健康推進課
	ボクシングエクササイズ教室	女性に人気のあるボクシングエクササイズ教室(スポーツ教室)を開催し、定員30名を対象に生活習慣病の予防や心の健康づくりを図る。	基本的なストレッチやシャドーボクシングのフォームを習得することにより、参加者の健康や体力を維持、向上させることができた。受講者32名	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	あまスポーツクラブ事業	健康づくりを行い仲間との交流を深める目的で、まっちゃんのなわとび教室を始め24の講座及び各種スポーツの教室を開催する。	各講座月2回程度の開催。週合計約390名以上の参加者があった。健康や体力の維持及び向上を図り、仲間との交流を深めることができた。	有	○:計画通りに進めることができた	あまスポーツクラブ(スポーツ課)
⑤運動・スポーツ無関心層への啓発	出前講座	市民の要望に応じて、メニュー(講座)を実施する。	50回開催2,063名の市民の方に参加いただいた。「ずっと We Love あま!体操」「認知症予防講座」「転ばぬ先のロコモ予防」「続けよう健口体操」等の講座では、視覚教材を使用するなどして、脳トレやフレイル予防の体操、手足の運動を楽しく受講していただき、また参加したいという声も多数あった。	有	○:計画通りに進めることができた	人事秘書課
	あまのわ	来場者数2,000人を超えるイベント(あまのわ)において、参加自由なスポーツ体験のブース・コーナーを設置し、若者から高齢者まで普段運動やスポーツに関りが無い層への啓発を実施する。	第8回あまのわ(来場者3,800人)において、スポーツ課が窓口となり、ファイティングイーグルス名古屋によるバスケット体験コーナーやオフィシャルチアダンスチームによるステージパフォーマンスを実施した。また、オリンピック紹介ブースの出展もあり、市民活動分野に興味のある層や中高生・大学生ボランティア等、幅広い年齢層に対してスポーツ普及を図った。	有	○:計画通りに進めることができた	企画政策課
	市民応援事業	スポーツを「みる」機会を提供し、スポーツに触れ、感動を体験してもらうため、東京オリンピックから競技種目となった自転車競技BMX(スリースタイル)の体験イベントを開催する。	パリ2024オリンピック、パラリンピック競技大会に出場する地元ゆかりの選手の資料展示等を行った。スポーツを「みる」「ささえる」活動のきっかけが提供でき、市の一体感醸成を図ることができた。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
⑥スポーツにふれる機会の提供	市民スポーツ大会【再掲 1-(1)-①】	スポーツ協会が主管となり、市民を対象として市民大会を開催し、競技力・意欲の向上につながるよう、市民を対象とした各種スポーツの市民大会を開催している。	各協会が様々な種目の市民大会を開催し、市民の方が気軽に参加できるスポーツの場の提供することで、市民の健康増進に貢献することができた。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	ディスクゴルフ	障がいのある方がスポーツを楽しく経験し、身近に感じていただけるディスクゴルフ大会をあまスポーツクラブ事業として開催する。	令和6年11月17日(日)に美和小運動場で実施した。毎年参加していたいただいている常連の方も、市民の楽しみの一つになっている。参加者16名	有	○:計画通りに進めることができた	あまスポーツクラブ(スポーツ課)
	スポーツ観戦事業	スポーツを「みる」機会を提供し、スポーツに触れ、感動を体験してもらうため、スポーツ観戦イベントを開催する。	プロバスケットボールチーム「ファイティングイーグルス名古屋」の協力のもと、令和6年12月22日(日)開催の同クラブシーズンマッチ・ホームゲームへ市民267名を無料招待した。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	BMX体験会	スポーツを「みる」機会を提供し、スポーツに触れ、感動を体験してもらうため、東京オリンピックから競技種目となった自転車競技BMX(スリースタイル)の体験イベントを開催する。	オリンピック競技でもある自転車競技BMX(スリースタイル)を体験することで、オリンピックパラリンピックを「みる」「ささえる」活動のきっかけが提供でき、多くの市民の健康や体力の維持、向上の機会を提供することができた。参加者 37名	無	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	モルック体験会	フィンランド発祥のどなたでもきがるに楽しめる投てき競技モルックの体験イベントを開催する。	老若男女、障がいの有無も関係なく多くの市民の健康や体力の維持、向上及びインクルーシブスポーツの理解促進の機会を提供することができた。参加者 61名	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課

令和6年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目(結果・評価)

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組結果	令和7年度の実施の有無	評価	担当課
1-(2) 働く世代や親と子が楽しむスポーツの充実						
①働く世代向けのスポーツ教室等の開催	やさしいヨガ	心と身体のバランスを整え、心身不調改善を目的に実施する。	心と身体のバランスを整え、心身不調改善を目的に実施することができた。	有	○:計画通りに進めることができた	美和文化会館(生涯学習課)
	アロマヨガ	アロマ効果でリラックスすることを目的に実施する。	アロマ効果でリラックスすることを目的に実施することができた。	有	○:計画通りに進めることができた	美和文化会館(生涯学習課)
	いきいき体操教室	筋トレを楽しく行うことを目的に実施する。	当該事業は実施しなかったが、代替事業として「音読&体操で脳トレ!筋トレ!講座」を実施した。	無	×:計画通りに進めることができなかった	美和文化会館(生涯学習課)
	あまスポーツクラブ事業【再掲 1-(1)-④】	バランスボール教室、夜のリラクゼーションヨガ、ハッピーヨガ、ビューティーヨガ及び開運美姿勢ヨガ教室、健康フラダンス教室、ビューティーフラダンス教室、脳も鍛える健康体操教室、スポーツ吹き矢、、教室、骨盤ワーク教室、(あまスポーツクラブ事業)で、各種スポーツの教室を通じて健康づくりを行い、仲間との交流を深める。	各講座月2回程度の開催。週合計約390名以上の参加者があり、健康や体力の維持及び向上を図ることができた。	有	○:計画通りに進めることができた	あまスポーツクラブ(スポーツ課)
②職場のスポーツ・健康まちづくり活動の推進	未定	未定				あまスポーツクラブ(スポーツ課)
③子育て世代向けスポーツ教室等の開催	児童館事業	児童館事業のちびっこあつまれ(運動あそび、音楽あそび、工作あそび、たのしくリズム、つくってあそぼ、みんなげんきっこ、ちびっこ夏まつり)、コアラ教室を実施し、親子の交流を図っている。	・ちびっこあつまれの運動遊びでは、家庭にはない遊具を提供し、体全体を使っての運動遊びができた。 ・音楽あそびでは、その月の季節に合った歌を手遊びしながら歌い、曲を流し色々な楽器を使って音楽のリズムを感じて、からだでリズムを取り遊ぶことができた。 ・ちびっこまつりでは、集中力・バランス能力の向上などを目的とした遊びを設定し達成感や次への自信に繋がる4つのコーナーを提供し、楽しい時間を過ごせた。 ・コアラ教室では、子どもの発達段階に合わせて、今できる事を基本として、常に今よりの上を目指して行事内容を考えた。それができた時の達成感や喜びを、親子と職員が共に感じあえた。 ・乳幼児親子を対象とした運動遊びなど、親子で楽しく身体を動かす教室を開催した。	有	○:計画通りに進めることができた	子ども福祉課
	子育て支援センター事業	未就学児を中心に地域全体で子育て家庭を支援するため、赤ちゃんとおぼろ、わらべうたあそび、わくわく広場、にこにこ広場等を開催している。	毎月のように実施しており、赤ちゃんとおぼろ714人、わらべうたあそび415人、わくわく広場417人、にこにこ広場448人、ほんわか広場578人の参加人数があった。それ以外にも、親子のふれあいや交流を目的に音楽あそび、バランスボール、風船遊び、リトミックあそび、を不定期にて実施。参加人数は、音楽あそび155人、バランスボール76人、風船あそび87人、リトミックあそび88人、親子でリズムトレーニング47人であった。	有	○:計画通りに進めることができた	保育課
	つどいの広場事業	未就学児を中心に地域全体で子育て家庭を支援するため、ふれあい広場等を開催している。	ふれあい広場はほぼ毎月実施しており、147人の参加人数があった。その他不定期開催で行事を実施し、にこにこベビーデー107人、わらべうたあそび60人、風船あそび38人、親子リズム体操あそび59人、親子でリトミック26人、親子でリズムトレーニング18人の参加人数があった。	有	○:計画通りに進めることができた	保育課
	親子で遊ぼう!歯っぴい教室	8~11か月児対象の親子で遊ぼう!歯っぴい教室の中で、乳児と保護者が触れ合い、親子で体を動かすことで、健康増進を図る。	8~11か月児対象の親子で遊ぼう!歯っぴい教室において、乳児と保護者の触れ合いを推進するため、親子ふれあい体操を実施した。(10回 78人)	有	○:計画通りに進めることができた	健康推進課
	幼児期家庭教育講座	子育て世代向けの講座を開催する。また託児付きの講座を開催することで、子育て世代が参加しやすい講座を開催する。	子育て世代向けの講座を開催した。また託児付きの講座を開催することで、子育て世代が参加しやすい講座を開催することもできた。	有	○:計画通りに進めることができた	生涯学習課
	ママのためのリフレッシュ産後ケア&バランスボール	ママのためのリフレッシュ産後ケア&バランスボール(公民館講座)で、バランスボールを使い、室内で気軽に有酸素運動を行なう。【託児有】	ママのためのリフレッシュ産後ケア&バランスボール(公民館講座)で、バランスボールを使い、室内で気軽に有酸素運動を行なうことができた。	有	○:計画通りに進めることができた	生涯学習課
	親子体操教室	親子体操教室(スポーツ教室)で、定員25組50名を対象に親子で体操に触れ合い体を動かし、親子の絆を深め、同世代の親子の交流を図る。	様々な運動や遊びを通じて、親子の交流やスポーツへの興味・関心を深めることができた。また、甚目寺総合体育館では初めて託児付講座とし、参加者を大幅に増やすことができた。 七宝総合体育館(前期)応募がなく中止 後期は15組。 甚目寺総合体育館(通年)2講座:47組。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課

令和6年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目(結果・評価)

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組結果	令和7年度の実施の有無	評価	担当課
1-(3) 子どもがスポーツを楽しむ機会・場の充実						
①地域における運動・スポーツの推進	スポーツ開放	小学生の活動の場を広げるため、放課後や土日祝日に学校施設をスポーツ団体等に開放する。	スポーツ少年団・協会を始めとする団体に、問題等なく学校施設を開放することができた。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	学校プール開放事業	小中学生を対象としてプール開放事業を実施し、水に親しむ機会を増やすとともに、児童生徒の体力向上及び健康増進を図る。	夏休み初日から約2週間開催。2,552名の児童生徒が参加し、体力向上及び健康増進を図ることができた。令和5年参加者 2,980名	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	あまスポーツクラブ事業【再掲 1-(1)-④】	健康づくりを行い仲間との交流を深める目的で、まっちゃんのなわとび教室を始め24の講座及び各種スポーツの教室を開催する。	各講座月2回程度の開催。週合計約390名以上の参加者があった。健康や体力の維持及び向上を図り、仲間との交流を深めることができた。	有	○:計画通りに進めることができた	あまスポーツクラブ(スポーツ課)
②幼児期からの運動あそび・レクリエーションの推進	児童館事業	各児童館で小学生を対象にシュートにチャレンジ、わくわくゲーム遊び、なわとびをしよう、ボウリングをしよう、けん玉で遊ぼう、正月遊びをしよう、ドッジビーをしよう、レクリエーション・ダンスをしよう、ミニ運動会、児童館まつり、みんなで体操を開催する。	・なわとび、けん玉、フラフープ、スキップジャンプは、いつでも遊べるように設置してある遊びと、行事として行う遊びがあり、レクリエーションなどは講師を招いて大人数で協力し合い、他学年との交流遊びにも繋がった。 ・小学生を対象に体を動かすゲームや遊びを実施し楽しく体を動かす行事を開催した。 ・今年は小学生の来館者が増え、行事の日は楽しみに参加をしてくれている。それぞれの用具の正しい使い方、人数が多い時等怪我につながらないため守るべきルールをしっかりと伝え、行事以外で来館した時にも高学年が中心となり、厚生員も見守りながら楽しく体を動かすことが出来ている。	有	○:計画通りに進めることができた	子ども福祉課
	ちびっこあつまれ	運動あそび、音楽あそび、工作あそび、たのしくリズム、つくってあそぼ、みんなげんきっこ、ちびっこ夏まつりを開催する。	・運動、音楽、工作のそれぞれの遊びの目的に応じて、ねらいを元に内容計画を立て、親子のコミュニケーションの場にもなり、母親同士の情報交換の場にもなった。 ・運動あそび、音楽あそび、工作あそび、ちびっこ夏まつりを実施し親子で楽しく身体を動かす行事を開催した。 ・毎月季節の行事に触れたり、色々な動きに挑戦できるよう違う内容のもので計画しているが、運動遊びでは好きなものは繰り返し行うなど子どもの姿に合わせて活動を行った。	有	○:計画通りに進めることができた	子ども福祉課
	放課後子ども教室運営事業	放課後の子どもたちが安心して活動できる場所として、学校の余裕教室や校庭を活用し、地域の大人の参画を得て学習活動、文化活動及びスポーツ等を行い、地域社会の中で心豊かに育まれる環境をつくる。	放課後の子どもたちが安心して活動できる場所として、学校の余裕教室や校庭を活用し、地域の大人の参画を得て学習活動、文化活動及びスポーツ等を行い、地域社会の中で心豊かに育まれる環境をつくることができた。	有	○:計画通りに進めることができた	生涯学習課
	小学生夏休みスポーツ教室	小学生夏休みスポーツ教室でフットサル教室(定員20名)やドッジボール教室(定員30名)を開催し、子どもたちが身体を動かす楽しさ・喜びを感じることで、運動の日常化を目指す。	小学生夏休みスポーツ教室のフットサルやドッジボール等を通じ、児童の健康や体力の維持、向上を図ることができた。フットサル教室(七宝総合体育館)20名、団体スポーツ教室50名(基目寺総合体育館30名、美和公民館20名)、キャッチボール教室(基目寺総合体育館 9組18名)。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	あまスポーツクラブ事業【再掲 1-(1)-④】	健康づくりを行い仲間との交流を深める目的で、まっちゃんのなわとび教室を始め24の講座及び各種スポーツの教室を開催する。	各講座月2回程度の開催。週合計約390名以上の参加者があった。健康や体力の維持及び向上を図り、仲間との交流を深めることができた。	有	○:計画通りに進めることができた	あまスポーツクラブ(スポーツ課)
	バランスボールエクササイズ	音楽に合わせて、ボールを使って手足を動かすことを目的に実施する。	音楽に合わせて、ボールを使って手足を動かすことを目的に実施することができた。	有	○:計画通りに進めることができた	美和文化会館(生涯学習課)
	③スポーツ少年団によるスポーツの推進	スポーツ少年団補助金	スポーツを通じて青少年の健全な育成に寄与することを目的に活動するスポーツ少年団に補助金を交付し、少年団の育成及び活動の活発化を図り、青少年のスポーツ振興を支援する。	20団体に135万円を補助金として交付し、少年団の育成及び活動の活発化を図り、青少年のスポーツ振興を支援した。	有	○:計画通りに進めることができた
④スポーツへの関心を高める機会の提供	スポーツ観戦事業【再掲 1-(1)-⑥】	スポーツを「みる」機会を提供し、スポーツに触れ、感動を体験してもらうため、スポーツ観戦イベントを開催する。	プロバスケットボールチーム「ファイティングイーグルス名古屋」の協力のもと、令和6年12月22日(日)開催の同クラブシーズンマッチ・ホームゲームへ市民267名を無料招待した。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
⑤スポーツ体験会の実施	スポーツ少年団本部交流会	様々なスポーツを体験し、あま市スポーツ少年団所属単位団相互の親睦と交流を図るとともに、あま市スポーツ少年団所属単位団非加入者(市内在住小学生)への加入促進を図る。	令和7年1月25日(土)七宝総合体育館にて開催した。277名の児童が参加し、とても盛況だった。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課

令和6年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目(結果・評価)

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組結果	令和7年度の実施の有無	評価	担当課
1-(4) 高齢者向けスポーツ、健康づくり活動の推進						
①高齢者向けの運動・スポーツの普及推進	高齢者健康体操教室	甚目寺老人福祉センターで高齢者の活動の場を提供し、長寿社会の実現に向けて事業展開を図る。	教室名 「高齢者健康体操教室」 開催日 毎月第1・2木曜日 場 所 甚目寺老人福祉センター 内 容 転倒骨折予防事業として、高齢者を対象に体を動かす講座を開催した。(参加者 314名)	有	○:計画通りに進めることができた	人権推進課
	転倒骨折予防事業	人権ふれあいセンターで、筋力アップ体操教室を開催し、高齢者の健康づくりに寄与する。	教室名 「筋力アップ体操教室」 開催日 毎月第4 木曜日 場 所 あま市人権ふれあいセンター 内 容 転倒骨折予防事業として、高齢者を対象に健康体操講座を開催した。(参加者 119名)	有	○:計画通りに進めることができた	人権推進課
	特定保健指導対象者への啓発【再掲 1-(1)-④】	特定保健指導等により、運動を含めた生活習慣の見直しを促す。	特定保健指導を81人に実施し、運動を含めた生活習慣の見直しを促した。	有	○:計画通りに進めることができた	保険医療課
	フレイル予防の周知啓発	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業において、フレイル予防の周知啓発を行う。	健康状態不明者への訪問を21件、通いの場等においてフレイル予防事業を27か所29回5,586人に対し実施し、フレイル予防の周知啓発を行った。	有	○:計画通りに進めることができた	保険医療課
	健康ウォーキング「ウォーキングあま」【再掲 1-(1)-④】	市内のさまざまなコースをウォーキングし、生活習慣病の予防や心の健康づくりに寄与する。	生活習慣病の予防や心の健康づくりのために、ウォーキングあまを実施し、市内のさまざまなコースをウォーキングした。(8回 174人)	有	○:計画通りに進めることができた	健康推進課
	ワクワクからだ教室【再掲 1-(1)-④】	ワクワクからだ教室(成人保健事業)において、転倒や骨折を予防するために、体ほぐしや体操を実施する。	ワクワクからだ教室において、筋肉を丈夫にして、転倒や骨折を予防するために、体ほぐしや体操を実施した。(36回 572人)	有	○:計画通りに進めることができた	健康推進課
	介護予防教室	介護予防のための運動教室を実施し、高齢者の運動機会の増加を図る。	介護予防教室(はつらつクラブ)を72回実施し、延べ1199人の参加があった。	有	○:計画通りに進めることができた	高齢福祉課
	認知症予防講座	身体と頭を使い、楽しみながら認知症予防に取り組むことができる運動等を実施する。	6回実施し109人の参加があった。	有	○:計画通りに進めることができた	高齢福祉課
	家でも取り組める運動の普及・啓発	高齢者が家でも気軽に取り組むことができる運動のリーフレットを作成し、出前講座等で配布する。	認知症予防講座にて配布した。	有	○:計画通りに進めることができた	高齢福祉課
	市民ラジオ体操の集い【再掲 1-(1)-①】	世代を超えた交流や健康増進、さらに正しいラジオ体操の普及を目的に市民ラジオ体操の集いを実施する。	303名(七宝中止、甚目寺147名、美和156名)の参加があり、幅広い世代に対し運動のきっかけづくりや健康づくりの機会を提供することができた。七宝地区(市役所)は、雨天のため中止。	有	△:おおむね計画通りに進めることができた	スポーツ課
	はつらつ健康教室～シニア運動教室～	はつらつ健康教室～シニア運動教室～(スポーツ教室)を開催し、自らの体力・健康状態を自覚することで、自発的な介護予防を行う。	定員を超える応募があり、とても盛況でした。応募者全員が自らの体力・健康状態を自覚することで、自発的な介護予防を行った。参加者14名(定員10名)	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	シニアバランスボール教室	シニアバランスボール教室(あまスポーツクラブ事業)を開催し、身近な素材を利用して健康維持・介護予防を行なう。	バランスボールを通して高齢者に体を動かす機会を提供した。参加者7名	有	○:計画通りに進めることができた	あまスポーツクラブ(スポーツ課)
	音読&体操で脳トレ!筋トレ!講座	音読や簡単な体操などを楽しみながら、自然に免疫力・バランス力・筋力の維持を図る。	音読や簡単な体操などを楽しみながら、自然に免疫力・バランス力・筋力の維持を行うことができた。	有	△:おおむね計画通りに進めることができた	美和文化会館(生涯学習課)
②高齢者の健康と生きがいづくりの推進	カラオケ体操	本郷憩の家で毎週月曜日午前10時30分から11時に開催する。新居屋憩の家で火曜日、木曜日、土曜日に開催する。森憩の家で月曜日、水曜日、金曜日14時に開催する。	・森憩の家では、定期的にはカラオケ体操を行い、高齢者の健康づくり活動を推進することができた。 ・新居屋憩の家では、月曜～土曜に設定をし、活動を推進することができた。	有	○:計画通りに進めることができた	子ども福祉課
	モリ森体操	森憩の家で毎月第3金曜日午前10時から開催する。	森憩の家では、筋力アップを目的とした「モリ森体操」で高齢者の健康づくり活動を推進することができた。	有	○:計画通りに進めることができた	子ども福祉課
	シルバーカレッジ事業	シルバーカレッジの講座に体を動かす講座を取り入れ、同世代の交流、健康維持を図る。	シルバーカレッジの講座に体を動かす講座を取り入れ、同世代の交流、健康維持を行うことができた。	有	○:計画通りに進めることができた	生涯学習課

令和6年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目(結果・評価)

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組結果	令和7年度の実施の有無	評価	担当課
1-(5) 競技力・意欲向上につながる機会の充実						
①市民スポーツ大会・イベントの開催・充実	市町村対抗駅伝	愛知県市町村対抗駅伝競走大会に参加し、市としての一体感の醸成、市民のスポーツ振興を図る。	監督(1名)・コーチ(1名)・選手(18名)が、約3カ月間、同じ目標に向かって練習を重ねることで、市としての一体感の醸成、市民のスポーツ振興を図ることができた。(市部門 26位)	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	市民スポーツ大会	スポーツ協会が主管となり、市民を対象として市民大会を開催し、競技力・意欲の向上につながるよう、市民を対象とした各種スポーツの市民大会を開催する。	各協会が様々な種目の市民大会を開催し、市民の方が気軽に参加できるスポーツの場の提供することで、市民の健康増進に貢献することができた。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	スポーツ少年団本部交流会【再掲 1-(3)-(5)】	様々なスポーツを体験し、あま市スポーツ少年団所属単位団相互の親睦と交流を図るとともに、あま市スポーツ少年団所属単位団非加入者(市内在住小学生)への加入促進を図っている。	令和7年1月25日(土)七宝総合体育館にて開催した。277名の児童が参加し、とても盛況だった。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	あまのわ【再掲 1-(1)-(5)】	来場者数2,000人を超えるイベント(あまのわ)において、参加自由なスポーツ体験のブース・コーナーを設置し、若者から高齢者まで普段運動やスポーツに関りが無い層への啓発を実施する。	第8回あまのわ(来場者3,800人)において、スポーツ課が窓口となり、ファイティングイーグルス名古屋によるバスケット体験コーナーやオフィシャルチアダンスチームによるステージパフォーマンスを実施した。また、オリンピック紹介ブースの出展もあり、市民活動分野に興味のある層や中高生・大学生ボランティア等、幅広い年齢層に対してスポーツ普及を図った。	有	○:計画通りに進めることができた	市民活動センター(企画政策課)
②地域ぐるみでアスリートを支える仕組みづくり	市民栄誉賞	市民または市に特別ゆかりの深い者で、スポーツその他の分野において輝かしい功績があった者に対して市民栄誉賞を授与する。	令和6年に行われたパリオリンピック フェンシングエベ個人で金メダル、同団体で銀メダルを獲得した加納虹輝選手へ市民栄誉賞を授与した。 【贈呈内容】 クリスタル賞状盾 賞賜金(30万円) 副賞(七宝みそ1年分)	有	○:計画通りに進めることができた	人事秘書課
	教育、文化、スポーツ関係全国大会等出場報奨金	競技力・意欲向上を目的に全国大会に出場等をする市民及び団体に対して、あま市教育・文化・スポーツ活動全国大会等出場報奨金を交付する。	・全国大会(個人):36件(180,000円) ・全国大会(団体):2件(40,000円) ・国際大会(個人):3件(60,000円) ・国際大会(団体):該当なし ・世界大会(個人):1件(50,000円) ・世界大会(団体):該当なし ※令和7年1月1日時点の交付済み件数	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	スポーツ顕彰	オリンピック・パラリンピック等、国際的なスポーツ競技大会において、優れた成績を取った方にスポーツ顕彰において栄誉大賞、栄誉賞、功労賞を授与し、スポーツの振興とふるさと意識の高揚を図る。	令和6年12月27日(金)市役所にて、あま市スポーツ栄誉大賞表彰式を開催。パリ2024オリンピック競技大会フェンシング男子エベ個人金メダル、男子エベ団体銀メダルを獲得した、あま市出身の加納虹輝(日本航空株式会社所属)に表彰状・賞賜金を贈呈した。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課

令和6年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目(結果・評価)

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組結果	令和7年度の実施の有無	評価	担当課
基本目標2 スポーツによるまちづくり						
2-(1) スポーツを通じたまちなぎわいとコミュニティづくり						
①まちの賑わいを創出するスポーツイベントの開催・誘致	未定	未定				スポーツ課
②異業種・異分野の企業や団体と連携したスポーツイベントの実施	あま健康マイレージ事業(一般)	スポーツに限定することなく、健康マイレージ事業を推進する。	健康づくりのきっかけとして、6月から12月までの期間、あま健康マイレージを実施した。(応募者数1,357人)	有	○:計画通りに進めることができた	健康推進課
	市の知名度向上	スポーツイベントを活用して観光、特産品等をPRし、市の知名度向上を推進する。	5月12日、5月26日に市内2地区(1地区は雨天のため中止)で実施された「市民ラジオ体操の集い」において観光PRを実施。 11月30日に開催されたフットサルイベント(名古屋オーシャンズ)において観光PRを実施。 12月7日に実施された愛知駅伝と同時開催された「あいちふるさと市」(長久手市)において観光PRを実施。 12月22日に稲沢市(豊田合成記念体育館 ENTRIO)で開催されたB1リーグFE名古屋の試合会場において観光PRを実施。	有	○:計画通りに進めることができた	商工観光課
	スポーツ少年団	あま市近郊少年野球大会を市内企業がスポーツ少年団と共催する。県外チームが参加する少年サッカー大会を、企業とスポーツ少年団が連携して開催する。	エイビス旗あま市近郊少年野球大会(七宝グラウンド、七宝鷹居グラウンド)及びYOSHIDA CUP(蜂須賀グラウンド)を開催した。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	あまのわ【再掲 1-(1)-⑤】	来場者数2,000人を超えるイベント(あまのわ)において、参加自由なスポーツ体験のブース・コーナーを設置し、若者から高齢者まで普段運動やスポーツに関りが無い層への啓発を実施する。	第8回あまのわ(来場者3,800人)において、スポーツ課が窓口となり、ファイティングイーグルス名古屋によるバスケット体験コーナーやオフィシャルチアダンスチームによるステージパフォーマンスを実施した。また、オリンピック紹介ブースの出展もあり、市民活動分野に興味のある層や中高生・大学生ボランティア等、幅広い年齢層に対してスポーツ普及を図った。	有	○:計画通りに進めることができた	市民活動センター(企画政策課)
③各種メディアを活用した市内外へのスポーツ情報の発信	がんばれあまっ子	地域活性化及び意欲向上を目的に、スポーツ大会で優秀な成績を取めたあま市在学のあまっ子の大会結果をYoutubeで発信する。	令和5年度分の動画配信は、令和6年8月に公開した。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	広報誌掲載	全国大会等に出場された方が市長を表敬訪問された際に、メディアに周知するとともに広報紙内のカメラポでPRする。	市長表敬訪問日の2週間前を目安に記者発表を人事秘書課を通じ実施。各訪問者の実績を、広報あま(カメラポ)に掲載しPRした。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
④スポーツイベントを通じた地域コミュニティの活性化	市民スポーツ大会【再掲 1-(5)-①】	スポーツ協会が主管となり、市民を対象として市民大会を開催し、競技力・意欲の向上につながるよう、市民を対象とした各種スポーツの市民大会を開催する。	各協会が様々な種目の市民大会を開催し、市民の方が気軽に参加できるスポーツの場の提供することで、市民の健康増進に貢献することができた。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	スポーツ少年団本部交流会【再掲 1-(3)-⑤】	様々なスポーツを体験し、あま市スポーツ少年団所属単位団相互の親睦と交流を図るとともに、あま市スポーツ少年団所属単位団非加入者(市内在住小学生)への加入促進を図っている。	令和7年1月25日(土)七宝総合体育館にて開催した。277名の児童が参加し、とても盛況だった。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	市民栄誉賞【再掲 1-(5)-②】	市民または市に特別ゆかりの深い者で、スポーツその他の分野において輝かしい功績があった者に対して市民栄誉賞を授与する。	令和6年に行われたパリ2024オリンピック フェンシングエベ個人で金メダル、同団体で銀メダルを獲得した加納虹輝選手へ市民栄誉賞を授与した。 【贈呈内容】 クリスタル賞状盾 賞賜金(30万円) 副賞(七宝みそ1年分)	有	○:計画通りに進めることができた	人事秘書課
⑤地域ぐるみでアスリートを支える仕組みづくり	教育、文化、スポーツ関係全国大会等出場報奨金【再掲 1-(5)-②】	競技力・意欲向上を目的に全国大会に出場等をする市民及び団体に対して、あま市教育・文化・スポーツ活動全国大会等出場報奨金を交付する。	・全国大会(個人):36件(180,000円) ・全国大会(団体):2件(40,000円) ・国際大会(個人):3件(60,000円) ・国際大会(団体):該当なし ・世界大会(個人):1件(50,000円) ・世界大会(団体):該当なし ※令和7年1月1日時点の交付済み件数	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	スポーツ顕彰【再掲 1-(5)-②】	スポーツ顕彰【再掲(1-(5)-②)】オリンピック・パラリンピック等、国際的なスポーツ競技大会において、優れた成績を取めた方にスポーツ顕彰において栄誉大賞、栄誉賞、功労賞を授与し、スポーツの振興とふるさと意識の高揚を図る。	令和6年12月27日(金)市役所にて、あま市スポーツ栄誉大賞表彰式を開催。パリ2024オリンピック競技大会フェンシング男子エベ個人金メダル、男子エベ団体銀メダルを獲得した、あま市出身の加納虹輝(日本航空株式会社所属)に表彰状・賞賜金を贈呈した。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
2-(2) スポーツ指導者の確保・養成						
	指導者研修会	地域住民のスポーツ活動の活性化・定着化を促進するため、スポーツ少年団、スポーツ協会の合同で指導者研修会を開催する。	令和6年10月5日(土)あま市役所 D会議室にて開催した。64名の指導者が参加し、とても盛況だった。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課

令和6年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目(結果・評価)

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組結果	令和7年度の実施の有無	評価	担当課
①運動・スポーツ指導者の養成・支援	研修会・講習会の案内	国や県のスポーツ少年団、スポーツ協会から案内がある研修会や講習会を市スポーツ少年団やスポーツ協会に加盟している団体に案内し、参加を促す。	国や県のスポーツ少年団、スポーツ協会から案内があった「愛知県スポーツ協会コンプライアンス研修会」、「JSOP公認スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会などの研修会や講習会の案内を市スポーツ少年団やスポーツ協会に情報提供を行い、参加を促した。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
②スポーツ推進委員の活動の充実	スポーツ推進委員事業	スポーツ課が主管となり、市民ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会・市民走ろう歩こう会、愛知駅伝の運営補助を行う。令和4年度からは市民体力測定会を開催し、生涯スポーツの振興を推進する。	いずれの事業についても滞りなく円滑に実施することができた。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
③スポーツを支える人材の確保	「人材バンク」の設立	スポーツ指導者を登録する「人材バンク」を設立し、スポーツを支える人材を確保するとともに、指導を必要としている学校、団体等に対し、指導者情報をわかりやすく提供する。	令和6年5月1日「あいち地域クラブ活動人材バンク」が開設された。市としては、部活動地域移行の方針が決まっておらず、「人材バンク」設立も検討中である。	有	×:計画通りに進めることができなかった	スポーツ課
2-(3) スポーツボランティアの発掘・育成						
①スポーツに関わるボランティアの発掘・育成推進	ふれあい・いきいきサロン支援事業	ふれあい・いきいきサロン(市内各地区における、高齢者等を対象とした市民ボランティア活動)を促進するため、相談支援、情報提供、情報交換会(年2回)、補助金を交付する。	令和6年度、新たに1か所開設され、現在は市内28か所でサロン活動を行っている。今後も未開設地域を中心に担い手の確保と新規開設に向けて事業展開を行う。	有	△:おおむね計画通りに進めることができた	社会福祉協議会
2-(4) 総合型地域スポーツクラブの活動強化にかかる支援						
①総合型地域スポーツクラブとの連携による活動強化	総合型地域スポーツクラブ補助金	身近な地域でスポーツに親しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブ「あまスポーツクラブ」に対し補助金を交付する。	450万円を補助金として交付した。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
②市民参画促進のための情報発信	あまスポーツクラブ講座の周知	公共施設、広報誌、市民ラジオ体操の集い等のイベント時において、あまスポーツクラブのチラシを配布し、情報発信を行う。	それぞれのイベント開始前に適切に公共施設にチラシの配布を行った。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
2-(5) スポーツ関係団体との連携・協働の推進						
①運動・スポーツ関係団体の連携と育成	スポーツ協会補助金	スポーツ団体の相互の連携促進や育成、市民の体力及び心身の健全な発達に寄与することを目的にあま市スポーツ協会に対して補助金を交付する。	400万円を補助金として交付した。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	スポーツ少年団補助金【再掲 1-(3)-③】	スポーツを通じて青少年の健全な育成に寄与することを目的に活動するスポーツ少年団に補助金を交付し、少年団の育成及び活動の活発化を図り、青少年のスポーツ振興を支援する。	20団体に135万円を補助金として交付し、少年団の育成及び活動の活発化を図り、青少年のスポーツ振興を支援した。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	スポーツ少年団本部交流会【再掲 1-(3)-⑤】	様々なスポーツを体験し、あま市スポーツ少年団所属単位団相互の親睦と交流を図るとともに、あま市スポーツ少年団所属単位団非加入者(市内在住小学生)への加入促進を図っている。また、運営ボランティアとして市内中学校の生徒に協力していただく。(ボランティアについては、検討中)	令和7年1月25日(土)七宝総合体育館にて開催した。277名の児童が参加し、とても盛況だった。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
②スポーツ推進連絡会議の創設	スポーツ推進連絡会議の設置	スポーツ関係団体、その他組織・団体等の相互交流と情報交換を行い、協力連携を図り、市のスポーツ施策を効果的かつ効率的に推進するため、あま市スポーツ推進連絡会議を設置し、年2回の会議を開催する。	令和6年度 第1回を令和6年7月17日(水)に第2回を令和7年2月12日(水)(予定)に市役所で会議を開催し活発な意見交換や情報提供を行った。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課

令和6年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目(結果・評価)

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組結果	令和7年度の実施の有無	評価	担当課
基本目標3 スポーツを通じた共生社会の実現						
3-(1) インクルーシブスポーツ等の推進						
①インクルーシブスポーツを通じた交流促進	モルック体験教室	障がいのある方でも参加できるモルックをあまスポーツクラブが主管となり、障がい者スポーツを楽しく経験し、身近に感じていただけるよう体験教室を開催する。	令和7年1月19日から3回(月1回)モルックを楽しんでいただく機会を提供する。参加予定者 11名	有	○:計画通りに進めることができた	あまスポーツクラブ(スポーツ課)
	ディスクゴルフ【再掲 1-(1)-⑥】	障がいのある方がスポーツを楽しく経験し、身近に感じていただけるディスクゴルフ大会をあまスポーツクラブ事業として開催する	令和6年11月17日(日)に美和小運動場で実施した。毎年参加していただいている常連の方もでき、市民の楽しみの一つになっている。参加者16名	有	○:計画通りに進めることができた	あまスポーツクラブ(スポーツ課)
	モルック体験会【再掲 1-(1)-⑥】	フィンランド発祥のどなたでも気軽に楽しめる投てき競技モルックの体験イベントを開催する。	老若男女、障がいの有無も関係なく多くの市民の健康や体力の維持、向上及びインクルーシブスポーツの理解促進の機会を提供することができた。参加者 61名	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
②スポーツを通じた共生社会の実現	モルック体験教室【再掲 3-(1)-①】	障がいのある方でも参加できるモルックをあまスポーツクラブが主管となり、障がい者スポーツを楽しく経験し、身近に感じていただけるよう体験教室を開催する。	令和7年1月19日から3回(月1回)モルックを楽しんでいただく機会を提供する。参加予定者 11名	有	○:計画通りに進めることができた	あまスポーツクラブ(スポーツ課)
	ディスクゴルフ【再掲 1-(1)-⑥】	障がいのある方がスポーツを楽しく経験し、身近に感じていただけるディスクゴルフ大会をあまスポーツクラブ事業として開催する	令和6年11月17日(日)に美和小運動場で実施した。毎年参加していただいている常連の方もでき、市民の楽しみの一つになっている。参加者16名	有	○:計画通りに進めることができた	あまスポーツクラブ(スポーツ課)
	モルック体験会【再掲 1-(1)-⑥】	フィンランド発祥のどなたでも気軽に楽しめる投てき競技モルックの体験イベントを開催する。	老若男女、障がいの有無も関係なく多くの市民の健康や体力の維持、向上及びインクルーシブスポーツの理解促進の機会を提供することができた。参加者 61名	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
③障がいのある人のスポーツへの参加促進	モルック体験教室【再掲 3-(1)-①】	障がいのある方でも参加できるモルックをあまスポーツクラブが主管となり、障がい者スポーツを楽しく経験し、身近に感じていただけるよう体験教室を開催する。	令和7年1月19日から3回(月1回)モルックを楽しんでいただく機会を提供する。参加予定者 11名	有	○:計画通りに進めることができた	あまスポーツクラブ(スポーツ課)
	ディスクゴルフ【再掲 1-(1)-⑥】	障がいのある方がスポーツを楽しく経験し、身近に感じていただけるディスクゴルフ大会をあまスポーツクラブ事業として開催する	令和6年11月17日(日)に美和小運動場で実施した。毎年参加していただいている常連の方もでき、市民の楽しみの一つになっている。参加者16名	有	○:計画通りに進めることができた	あまスポーツクラブ(スポーツ課)
	モルック体験会【再掲 1-(1)-⑥】	フィンランド発祥のどなたでも気軽に楽しめる投てき競技モルックの体験イベントを開催する。	老若男女、障がいの有無も関係なく多くの市民の健康や体力の維持、向上及びインクルーシブスポーツの理解促進の機会を提供することができた。参加者 61名	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
④パラスポーツの普及啓発・情報発信	市民応援事業【再掲 1-(1)-⑤】	市役所や事業所及び店舗などにパラ大会に出場する地元ゆかりの選手の懸垂幕、横断幕、のぼり旗等を設置して、まち全体で応援する。	パリ2024オリンピック、パラリンピック競技大会に出場する地元ゆかりの選手の資料展示等を行った。スポーツを「みる」「ささえる」活動のきっかけが提供でき、市の一体感醸成を図ることができた。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課

令和6年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目(結果・評価)

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組結果	令和7年度の実施の有無	評価	担当課
基本目標4 利用しやすい施設・情報環境の整備						
4-(1) スポーツ施設の整備・利便性の向上						
①スポーツ施設の整備・改修	児童遊園・ちびっ子広場の維持管理	児童遊園・ちびっ子広場は地区町内会、子ども会または業者に委託し管理をする。	児童遊園・ちびっ子広場の維持管理をし、子どもが利用しやすい施設の維持に努めた。	有	○:計画通りに進めることができた	子ども福祉課
	都市公園の維持管理	都市公園はシルバー人材センター、子ども会または業者に委託し、環境等の維持管理をする。	シルバー人材センター、子ども会及び業者に維持管理業務を委託し、安全で快適な公園環境を維持することができた。	有	○:計画通りに進めることができた	都市計画課
	施設整備(小学校・中学校)	小学校、中学校の学校施設の施設整備を行う。	体育施設等の施設整備については、 七宝小 プール給水バルブ取替修繕 宝小 防球ネット修繕 伊福小 防球ネット修繕 篠田小 プールサイド床防滑シート部分修繕 グラウンド凸部修繕 美和東小 プール底面部分補修修繕 甚小 プールろ過装置修繕、甚西小 体育館スチール扉修繕 七宝中 体育館非構造部材耐震改修工事 プール庇裏剥落修繕 七北中 体育館北漏水修繕 美和中 プールサイド床防滑シート部分張替修繕 誠友館トイレボールタップ等取替修繕 甚中 プールサイド床修繕 を実施しました。	有	○:計画通りに進めることができた	教育総務課
	施設管理・整備(体育館・体育施設)	総合体育館、グラウンド及びゲートボール場等の社会体育施設の施設整備を行なう。	緊急性・危険性が高いものを優先に、計画的に施設整備を進めることができた。内容は、「甚目寺テニスコート改修工事(人工芝生化)」、「森グラウンドトレイ整備工事監理業務」を行った。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
②スポーツ人口を増加させる既存施設の有効活用	既存施設の有効活用	スポーツ人口を増加させるため、既存施設の有効活用を図る。	七宝・甚目寺総合体育館などの開放について、課題・問題点を整理した。引き続き、施設の有効活用について検討を行う。	有	△:おおむね計画通りに進めることができた	スポーツ課
③スポーツ施設の利用基準の緩和	スポーツ施設の開放基準	市民が気軽にスポーツに親しむことができるよう、利便性の向上を目指す。	令和6年度団体登録から、テニス及びゲートボールの団体登録基準人数を、基本となるあま市在住・在学・在勤10名以上から4名以上に引き下げ、利便性の向上を図った。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
4-(2) 学校体育施設を活用した地域スポーツの場の確保						
①学校体育施設の有効活用	スポーツ開放【再掲 1-(3)-①】	小学生の活動の場を広げるため、放課後や土日祝日に学校施設をスポーツ団体等に開放する。	スポーツ少年団・協会を始めとする団体に、問題等なく学校施設を開放することができた。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	学校プール開放事業【再掲 1-(3)-①】	小中学生を対象としてプール開放事業を実施し、水に親しむ機会を増やすとともに、児童生徒の体力向上及び健康増進を図る。	夏休み初日から約2週間開催。2,552名の児童生徒が参加し、体力向上及び健康増進を図ることができた。令和5年参加者 2,980名	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	施設整備費(小学校・中学校)	宝小学校運動場に設置してあるサッカーゴール(2台)が経年劣化のため、新しいサッカーゴールに取り替える。	美和小学校のサッカーゴール(484,000円)を購入した。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
4-(3) わかりやすいスポーツ情報の提供						
①市民への効果的な情報発信と内容の充実	広報あま、市公式ホームページ、公式LINE、きずなネット	広報あま、市公式ホームページ、公式LINE、きずなネット等のツールを活用し、市民へ情報発信をする。	スポーツイベントやあま市ゆかりのアスリートに関する情報発信等、各種情報ツールを活用し、迅速に発信した。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
②民間スポーツクラブ等に関する情報発信	ポスター掲示	スポーツイベントやスポーツ教室、団体への団員募集のポスターを七宝・甚目寺総合体育館内に掲示し、市民に対してスポーツの情報発信を行う。	スポーツイベントやスポーツ教室、クラブ員募集のポスターを七宝・甚目寺総合体育館内に掲示し、市民に対してスポーツの情報発信を行った。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
③スポーツ協会・スポーツ少年団等に関する情報発信の強化	スポーツ少年団、スポーツ協会合同ホームページ	スポーツの機会を創出することを目的にスポーツ少年団、スポーツ協会の合同でホームページを作成し、掲載し、定期的にスポーツ活動を行う意欲のある市民に対し周知する。	スポーツ少年団、スポーツ協会合同のホームページを活用し、定期的にスポーツ活動の情報提供を行い、意欲のある市民に対し周知することができた。また、紹介ページに活動施設の写真を掲載するなどのリニューアルも行った。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課

令和6年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目(結果・評価)

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組結果	令和7年度の実施の有無	評価	担当課
基本目標5 スポーツ好きなあまっ子を育む						
5-(1) スポーツとの出会いの場の充実						
①地域における運動・スポーツの推進	あまスポーツクラブ事業【再掲 1-(1)-④】	未就学児・小学生を対象とした「まっちゃんのなわとび教室」(キッズ)、「まっちゃんのなわとび教室」(キッズ)、「ジャズヒップホップ教室」、「ジュニアバスケットボール教室」「親子のびのび運動教室」、「キッズバランスボール教室」、「バドミントン入門教室」を開催する。	各講座月2回程度の開催。週合計約390名以上の参加者があった。健康や体力の維持及び向上を図り、仲間との交流を深めることができた。	有	○:計画通りに進めることができた	あまスポーツクラブ(スポーツ課)
	あま健康マイレージ事業(小中学生)	小中学生を対象に健康マイレージ事業を実施する。	健康づくりのきっかけとして、6月から9月までの期間、あま健康マイレージを実施した。(応募者数10,656人)	有	○:計画通りに進めることができた	健康推進課
②幼児期からの運動あそび・レクリエーションの推進	児童館事業【再掲 1-(3)-②】	各児童館で小学生を対象にシュートにチャレンジ、わくわくゲーム遊び、なわとびをしよう、ポウリングをしよう、けん玉で遊ぼう、正月遊びをしよう、ドッジビーをしよう、レクリエーション・ダンスをしよう、ミニ運動会、児童館まつり、みんなで体操を開催する。	・なわとび、けん玉、フラフープ、スキップジャンプは、いつでも遊べるように設置してある遊びと、行事として行う遊びがあり、レクリエーションなどは講師を招いて大人数で協力し合い、他学年との交流遊びにも繋がった。 ・小学生を対象に体を動かすゲームや遊びを実施し楽しく体を動かす行事を開催した。 ・今年は小学生の来館者が増え、行事の日は楽しみに参加をしてくれている。それぞれの用具の正しい使い方、人数が多い時等怪我につながるため守るべきルールをしっかりと伝え、行事以外で来館した時にも高学年が中心となり、厚生員も見守りながら楽しく体を動かすことが出来ている。 ・児童館まつり、豆まき会を開催した。ブンブンコマを作った。	有	○:計画通りに進めることができた	子ども福祉課
	ちびっこあつまれ【再掲 1-(3)-②】	運動あそび、音楽あそび、工作あそび、たのしくリズム、つくってあそび、みんなげんきっこ、ちびっこ夏まつりを開催する。	・運動、音楽、工作のそれぞれの遊びの目的に応じて、ねらいを元に内容計画を立て、親子のコミュニケーションの場にもなり、母親同士の情報交換の場にもなった。 ・運動あそび、音楽あそび、工作あそび、ちびっこ夏まつりを実施し親子で楽しく身体を動かす行事を開催した。 ・毎月季節の行事に触れたり、色々な動きに挑戦できるよう違う内容のもので計画しているが、運動遊びでは好きなものは繰り返し行うなど子どもの姿に合わせて活動を行った。	有	○:計画通りに進めることができた	子ども福祉課
	放課後子ども教室運営事業【再掲 1-(3)-②】	放課後の子どもたちが安心して活動できる場所として、学校の余裕教室や校庭を活用し、地域の大人の参画を得て学習活動、文化活動及びスポーツ等を行い、地域社会の中で心豊かに育まれる環境をつくる。	放課後の子どもたちが安心して活動できる場所として、学校の余裕教室や校庭を活用し、地域の大人の参画を得て学習活動、文化活動及びスポーツ等を行い、地域社会の中で心豊かに育まれる環境をつくることができた。	有	○:計画通りに進めることができた	生涯学習課
	小学生夏休みスポーツ教室【再掲 1-(3)-②】	小学生夏休みスポーツ教室でフットサル教室(定員20名)やドッジボール教室(定員30名)を開催し、子どもたちが身体を動かす楽しさ・喜びを感じることで、運動の日常化を目指す。	小学生夏休みスポーツ教室のフットサルやドッジボール等を通じ、児童の健康や体力の維持、向上を図ることができた。フットサル教室(七宝総合体育館)20名、団体スポーツ教室50名(基目寺総合体育館30名、美和公民館20名)、キャッチボール教室(基目寺総合体育館 9組18名)。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	バランスボールエクササイズ【再掲 1-(3)-②】	音楽に合わせて、ボールを使って手足を動かすことを目的に実施する。	音楽に合わせて、ボールを使って手足を動かすことを目的に実施することができた。	有	○:計画通りに進めることができた	美和文化会館(生涯学習課)
	あまスポーツクラブ事業【再掲 1-(1)-④】	親子のびのび運動を年少・年中・年長の親子を対象に実施する。	あまスポーツクラブの年間講座として実施。親子や友達と楽しくリズムに乗って体を動かし発達に応じて柔軟性を養った。参加者6名	有	○:計画通りに進めることができた	あまスポーツクラブ(スポーツ課)
	③スポーツ少年団を中心としたスポーツの推進	スポーツ少年団補助金【再掲 1-(3)-③】	スポーツを通じて青少年の健全な育成に寄与することを目的に活動するスポーツ少年団に補助金を交付し、少年団の育成及び活動の活発化を図り、青少年のスポーツ振興を支援する。	20団体に135万円を補助金として交付し、少年団の育成及び活動の活発化を図り、青少年のスポーツ振興を支援した。	有	○:計画通りに進めることができた
④スポーツ体験会の実施	スポーツ少年団本部交流会【再掲 1-(3)-⑤】	様々なスポーツを体験し、あま市スポーツ少年団所属単位団相互の親睦と交流を図るとともに、あま市スポーツ少年団所属単位団非加入者(市内在住小学生)への加入促進を図っている。	令和7年1月25日(土)七宝総合体育館にて開催した。277名の児童が参加し、とても盛況だった。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
5-(2) 学校との連携によるスポーツ活動の支援						

令和6年度 スポーツ推進にかかる関係課の取組項目(結果・評価)

施策体系	事業・取組項目	取組内容	取組結果	令和7年度の実施の有無	評価	担当課
①運動クラブや運動部活動の支援	スポーツ少年団本部交流会 【再掲 1-(3)-⑤】	様々なスポーツを体験し、あま市スポーツ少年団所属単位団相互の親睦と交流を図るとともに、あま市スポーツ少年団所属単位団非加入者(市内在住小学生)への加入促進を図っている。また、運営ボランティアとして市内中学校の生徒に協力していただく。(ボランティアについては、検討中)	令和7年1月25日(土)七宝総合体育館にて開催した。277名の児童が参加があり、とても盛況だった。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
②運動部活動の在り方の検討	中学校運動部活動の地域移行	国の方針を踏まえ、将来にわたり子どもたちがスポーツに継続して親むことができるよう、休日運動部活動の地域移行について検討を行い、本市にあった体制の整備を推進する。	令和6年6月26日(水)に「部活動地域移行に関するアンケート」を保護者へ依頼した。令和6年9月17日(火)あま市教育課題検討委員会(学校部活動)を開催した。令和7年1月23日(木)あま市小中学校あり方課題別検討委員会(部活動)を開催し、今後の方向性を協議した。	有	○:計画通りに進めることができた	学校教育課 スポーツ課
5-(3) 競技スポーツとのふれあい						
①トップアスリート育成のための支援	スポーツ講習会	トップアスリートや指導者などを招聘し、スポーツ講習会を開催し、高いレベルで活躍することを目的とすることを指す子どもがトップレベルの技術に触れる機会を提供する。	・令和6年11月30日(土)七宝総合体育館にて、プロフットサルチームの「名古屋オーシャンズ」の協力もとフットサル体験会を開催。小学1～3年生74名が参加した。 ・令和6年12月1日(日)菖目寺総合体育館にて、愛知県アーチェリー協会及びあま市市出身で東京2020オリンピック競技大会銅メダリストの武藤弘樹選手の協力のもと、アーチェリー体験会を開催。市民150名が参加した。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
②スポーツへの取り組み意欲を喚起する機会の創出	スポーツ講習会 【再掲 5-(3)-①】	トップアスリートや指導者などを招聘し、スポーツ講習会を開催し、高いレベルで活躍することを目的とすることを指す子どもがトップレベルの技術に触れる機会を提供する。	・令和6年11月30日(土)七宝総合体育館にて、プロフットサルチームの「名古屋オーシャンズ」の協力もとフットサル体験会を開催。小学1～3年生74名が参加した。 ・令和6年12月1日(日)菖目寺総合体育館にて、愛知県アーチェリー協会及びあま市市出身で東京2020オリンピック競技大会銅メダリストの武藤弘樹選手の協力のもと、アーチェリー体験会を開催。市民150名が参加した。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
③地域ぐるみでアスリートを支える仕組みづくり	教育、文化、スポーツ関係全国大会等出場報奨金 【再掲 1-(5)-②】	競技力・意欲向上を目的に全国大会に出場等をする市民及び団体に対して、あま市教育・文化・スポーツ活動全国大会等出場報奨金を交付する。	・全国大会(個人):36件(180,000円) ・全国大会(団体):2件(40,000円) ・国際大会(個人):3件(60,000円) ・国際大会(団体):該当なし ・世界大会(個人):1件(50,000円) ・世界大会(団体):該当なし ※令和7年1月1日時点の交付済み件数	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	スポーツ顕彰 【再掲(1-(5)-②)】	オリンピック・パラリンピック等、国際的なスポーツ競技大会において、優れた成績を収めた方にスポーツ顕彰において栄誉大賞、栄誉賞、功労賞を授与し、スポーツの振興とふるさと意識の高揚を図る。	令和6年12月27日(金)市役所にて、あま市スポーツ栄誉大賞表彰式を開催。パリ2024オリンピック競技大会フェンシング男子エペ個人金メダル、男子エペ団体銀メダルを獲得した、あま市出身の加納 虹輝(日本航空株式会社所属)に表彰状・賞賜金を贈呈した。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
④ジュニア世代の各種競技大会の支援	教育、文化、スポーツ関係全国大会等出場報奨金 【再掲 1-(5)-②】	競技力・意欲向上を目的に全国大会に出場等をする市民及び団体に対して、あま市教育・文化・スポーツ活動全国大会等出場報奨金を交付する。	・全国大会(個人):36件(180,000円) ・全国大会(団体):2件(40,000円) ・国際大会(個人):3件(60,000円) ・国際大会(団体):該当なし ・世界大会(個人):1件(50,000円) ・世界大会(団体):該当なし ※令和7年1月1日時点の交付済み件数	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
⑤スポーツへの関心を高める機会の提供 【再掲 1-(3)-④】	市民栄誉賞 【再掲 1-(5)-②】	市民または市に特別ゆかりの深い者で、スポーツその他の分野において輝かしい功績があった者に対して市民栄誉賞を授与する。	令和6年に行われたパリオリンピック フェンシングエペ個人で金メダル、同団体で銀メダルを獲得した加納虹輝選手へ市民栄誉賞を授与した。 【贈呈内容】 クリスタル賞状盾 賞賜金(30万円) 副賞(七宝みそ1年分)	有	○:計画通りに進めることができた	人事秘書課
	スポーツ観戦事業 【再掲 1-(1)-⑥】	スポーツを「みる」機会を提供し、スポーツに触れ、感動を体験してもらうため、スポーツ観戦イベントを開催する。	プロバスケットボールチーム「ファイティングイーグルス名古屋」の協力のもと、令和6年12月22日(日)開催の同クラブシーズンマッチ・ホームゲームへ市民267名を無料招待した。	有	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課
	BMX体験会 【再掲 1-(1)-⑥】	スポーツを「みる」機会を提供し、スポーツに触れ、感動を体験してもらうため、東京オリンピックから競技種目となった自転車競技BMX(スリースタイル)の体験イベントを開催する。	オリンピック競技でもある自転車競技BMX(スリースタイル)を体験することで、オリンピックパラリンピックを「みる」「ささえる」活動のきっかけが提供でき、多くの市民の健康や体力の維持、向上の機会を提供することができた。 参加者 37名	無	○:計画通りに進めることができた	スポーツ課